

脱炭素まちづくりアドバイザー紹介

氏名	川手光春	所属	京都府地球温暖化防止活動推進センター
専門領域	地域脱炭素推進体制づくり、自治体実行計画策定・実行支援、再生可能エネルギー導入支援、住宅・家庭部門の脱炭素支援、中小企業脱炭素経営支援	居住地域／活動地域	京都市／京都府
キーワード	行政・住民連携、合意形成、伴走支援、ファシリテーション	派遣形式	スポット型、伴走型
略歴	東京農工大学農学部環境資源学科卒業。東京都板橋区立環境学習施設エコポリスセンターで環境学習指導員として勤務後、民間企業でISO14001取得支援や環境配慮型店舗運営支援に従事。さらに、里山保全や廃校を活用した宿泊体験施設の運営を行うNPO法人の設立・運営に携わる。2008年より京都府地球温暖化防止活動推進センターに勤務し、2020年から事務局長。京都府・市町村・事業者・市民団体と連携し、自治体計画策定支援、家庭・事業者の脱炭素支援、普及啓発、再生可能エネルギー導入支援など、地域の実情に応じた脱炭素の推進に取り組んでいる。2025年よりNPO法人コンシューマーズ京都監事、2026年よりNPO法人KES環境機構理事。		
過去の地方公共団体との関わり	京都府地球温暖化防止活動推進センター事務局長として、京都府及び府内市町村と連携し、多様な主体との協働による地域脱炭素を推進している。与謝野町では地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定支援、京都市では省エネ行動促進プログラム事務局として家庭部門の省エネ推進を担当。福知山市をはじめとする自治体では、脱炭素施策の企画・普及啓発、中小企業の脱炭素経営支援などを実施してきた。また、市町村職員向け研修や地域関係者との合意形成支援など、現場に寄り添った伴走型支援を行っている。		
一言	脱炭素は目的ではなく、地域を元気にし、暮らしやすく豊かなまちをつくるための手段です。地域ごとの特色や課題を踏まえ、行政、市民、事業者、金融機関、大学など多様な主体との連携を大切にしながら、実現可能で持続的な地域脱炭素を一緒に進めていきましょう。		
参考URL	京都府地球温暖化防止活動推進センター： https://www.kcfca.or.jp/ 京都再エネポータル： https://kyoto-saiene.net/		

